

「平成22年度独立行政法人医薬品医療機器総合機構契約監視委員会
(第4回)」議事概要

I 日 時

平成23年3月3日(木) 14:00～16:00

II 場 所

独立行政法人医薬品医療機器総合機構6階会議室1～2

III 出席委員(敬称略)

中村 洋(慶應義塾大学大学院経営管理研究科 教授)

松田 憲二(有限会社マツダ・ビジネス・コンサルティング 代表取締役)

和田 義博(公認会計士)

前川 行久(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事)

宗岡 徹(独立行政法人医薬品医療機器総合機構 監事(非常勤))

IV 議 題

- (1) 4月から6月末日にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件に係る事前点検
- (2) 前回審議した調達予定案件に係る契約締結状況
- (3) その他

V 議事内容

- (1) 4月から6月末日にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件に係る事前点検
4月から6月末日にかけて入札公告又は契約締結を予定している案件について概要説明が行われた。その後、各部毎に入札公告又は契約締結を予定している案件について個別に説明が行われ、審議が行われた。

委員からの意見・質問に対する当機構の回答	
意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・職員の利用するパソコン等のリース契約について、複数回に分けて契約を行っている理由は何か。 ・複数次に渡ってシステム開発を行う案件については、特定の者のみが応札している状況が見受けられるが、改善を図ることはできないか。 	<ul style="list-style-type: none"> ・職員の増員時期に合わせてリース契約を行っているためである。今後は、リース期間の満了を合わせるよう調整していくので、ある程度まとめた契約ができるものと考えている。 ・特定の者が応札した状況に対し、入札に関する対応として、業務内容をより詳細に把握できる仕様書を作成し、公示する他、閲覧資料の充実と閲覧期間の十分な確保を図っている。今後は、中長期的な視点に立ってシステム開発が行えるよう検討し、その一環として、オープンなソフトウェアを可能な限り使用することを検討する。

(2) 前回審議した調達予定案件に係る契約締結状況

前回審議した調達予定案件に係る契約締結状況について概要説明が行われた。

委員からの意見・質問に対する当機構の回答	
意見・質問	回答
<ul style="list-style-type: none"> ・低価格により落札している契約案件が見受けられるが、その理由は何か。 	<ul style="list-style-type: none"> ・低価格により落札した案件については、契約の履行が可能か調査を行っているところであり、ご指摘の案件については、労務単価の低い職員を従事させること等が理由の一つと考える。

(3) その他

平成22年度における一般競争入札（総合評価方式を含む）において、一者応札の落札率と二者以上の落札率に差が生じていること等について説明が行われた。

また、競争性確保に向けた更なる取り組みについて、説明が行われた。

さらに、平成20年度随意契約の点検結果に基づく平成22年度見直し対象については、全て措置済であることの説明が行われた。